【シーグラスのコースターを作って

海のことを考えよう】

[材料]
・海で拾ったシーグラスや貝がらなど
・紙ねんど
・ボンド

・ふた（おかしのふたなど）←コースターの土台にします

[作り方]

①紙ねんどをふくろから出して、よくこねる。

②やわらかくなった紙ねんどをちぎって、お菓子のふたにつめる。

③紙ねんどを一度ふたから取り出してひっくり返し、またふたにつめる。

④シーグラスや貝がらを用意する

※シーグラスを拾いに行くときは、洗濯ネットで集めると、そのまま海水で洗い、

自宅でも洗えるのでべんりです。

※貝がらを工作に使うときは、事前に煮沸（しゃふつ）消毒をしたり、歯みがき粉

や漂白剤につけてきれいにしてから使いましょう。

⑤紙ねんどの上で、だいたいの位置を決めたら、指先で、強めに押し込む。

⑥作業中に、紙ねんどがデコボコになってしまったら、軽く水をつけて、表面を

指先できれいにならす。あまり水をつけると乾きにくくなるので量を調整する。

⑦紙ねんどの表面が乾いたらボンドを指先でうすくぬっていく。

⑧ボンドが乾いたら（およそ２～3時間）ふたからコースターを外してできあがり。

★シーグラスなどを拾いに海岸へ行くと、残念なことに、たくさんのゴミが落ちていることに気付くと思いま

す。海岸で捨てられたもの、波で運ばれて漂着したものなど。

きれいなシーグラスも、もともとは捨てられたガラスびんが長い期間、波の力で転がされ、岩や砂などに

当たって割れて、角が取れてきた結果のものです。本当はシーグラスのない海岸の方が良いのです。

ねんどにつめながら、これらのガラスがどのような経緯をたどったのか、思い巡らせてくださいね。

★国立公園内や沖縄県など川や海岸で貝や小石、シーグラスなどを拾って持ち帰ることを禁止している

ところもあります。拾い集める前に、確認してください。